

第5回 幌延町議会 定例会

9月18日～19日

○各会計歳入歳出決算

一般会計から下水道事業特別会計までの7会計の決算総額は、歳入決算額66億4千9百67万7千円、歳出決算額は64億6千7百43万7千円で、翌年度繰越財源額を控除した差引残額は、1億7千3百43万3千円となった。

平成28年度との対比では、歳入が8.9%の増、歳出では、10.2%の増になった。

歳入の主なものは、問寒別分遣所整備事業に伴う地方債の増額によるもの。歳出では、問寒別分遣所整備事業による北留萌消防組合負担金、役場庁舎改修事業及び産業地域振興センター事業による増額等が主要因。

○各会計の地方債現在高

平成29年度末現在高は、44億2千9百41万4千円で、前年度より2億1千9百49万8千円減少した。なお、

29年度現在高のうち、72.6%に当たる32億1千5百37万3千円は、交付税算入されるため、将来負担の地方債現在高は12億1千4百4万1千円となっている。

○各会計基金残高

平成29年度末現在高は、前年度より1億7千4百39万4千円減少して、51億6千9百89万4千円となっており、平成29年度北海道市町村備荒資金組合納付金現在高は、前年度より8百15万6千円増加し、17億8千5百97万2千円となっている。

○税込総額

6億7千4百87万円で、前年度比2千9百56万8千円で、4.2%の減。徴収率は前年度同様99.2%。

○ふるさと応援寄附金

平成29年度の寄付金総額は1千86件で、1千1百28万7千円。そのうち6百38万7千円を返礼品経費等に充当し、残高4百90万円をふるさと応援基金に積み立てており、平成29年度末現在高は6百6万円となっている。

行政報告―町長

北海道胆振東部地震について。9月6日午前3時7分に発生した「北海道東部地震」によってお亡くなりなられた皆様にご冥福をお祈りするとともに、この地震と停電により被災された方々に心よりお見舞いを申しあげます。

幌延町は、地震による直接の被害は無かったが、地震に伴い、北海道全域が停電となり、発生直後より、理事者、防災担当課職員、関係課長が順次役場に登庁し、午前3時40分に非常配備体制を取った。6日午後2時10分には、停電が長期化するとの情報から、災害対策本部を設置し、午後4時に保健センターと問寒別生涯学習センターの2カ所に避難所を開設し、保健センターに6人の方が避難した。

この度の停電は、北海道全域に及ぶ大規模停電となり、今回の地震と停電を通じて、学んだことを今後の備えに活かしていきたい。

教育行政報告―教育長

○学校教育

1学期、夏休みを計画的に過ごし、子どもたち全員が元気に2学期の学校生活を送っている。

中学校体育文化連盟主催の全道陸上大会に出場した生徒の結果だが、幌延中学校3年生畠山幸さん、2年生の金田陵希君、1年生の村上湖太君の3名とも自己記録を更新した。剣道は、幌延中学校3年の臺川美咲さんが、女子個人戦に出場し、ベスト8となった。バドミントンは、幌延中学校3年の古草凌雅君と早坂晴君が、男子ダブルスに出場し、善戦した。

北海道吹奏楽コンクール稚内地区大会において、幌延中学校吹奏楽部がC編成の部で、見事、金賞を受賞し、11年ぶりの全道大会出場を決め、8月31日に札幌市Kitararaで開催された全道大会では、銅賞を受賞した。

本年度計画している事業は、天候にも恵まれ、ほぼ予定通り実施している。

編集後記

初雪が降り、冬へまっしぐらという季節になってきました。

さて、町議会では、開かれた議会を目指して、必死に議会改革の議論を進めています。これといった具体的な改革案がなかなか見いだせず、議員全員で頭を悩ませていきます。

開かれた議会改革の一つの取り組みとして、昨年度から町のホームページにおいて、議会の会議録を公開しています。町民の皆様には、是非ご利用いただきたいと思っております。ご家庭において、インターネットの環境がない場合でも、生涯学習センターで町のホームページが閲覧できます。パソコン操作が苦手な方は、職員にお気軽にお声掛けいただきたいと思っております。今後も町議会では、開かれた議会を目指して議論を進めて参ります。町民皆様のご意見をお寄せください。

編集委員長 西澤 裕之
副委員長 鷺見 悟
委員 高橋 秀之
吉原 哲男